

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 21.4.30 第 171 回国会第 13 号

4 月 30 日（木）第 13 回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件（新型インフルエンザ問題）

- ・石破農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 笹木 竜三君（民主）

- ・新型インフルエンザ問題について豚肉食品産業に対してどのような指導、助言を行っているのか。
- ・生体豚、豚肉の輸入について再検討する必要があるのではないか。

### 菅野 哲雄君（社民）

- ・豚インフルエンザを家畜伝染病予防法の疾病対象とすべきではないか。
- ・国内の豚に対する検査体制を強化する意義は何か。

## 2 農地法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 32 号）

- ・石破農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・宮腰光寛君外 2 名（自民、民主、公明）提出の修正案について、提出者宮腰光寛君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。  
（賛成 - 自民、民主、公明 反対 社民）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、民主、公明 反対 社民）
- ・七条明君外 2 名（自民、民主、公明）から提出された附帯決議案について、佐々木隆博君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。  
（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

### 赤澤 亮正君（自民）

- ・担い手不足等によって耕作放棄地が拡大している現状について農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・一般企業等の無秩序な農業参入に対する地域の農業従事者の懸念をどのように払拭するのか。
- ・農地の権利取得に係る農業委員会の許可に際して市町村長の意見を述べる機会を設ける必要があるのではないか。

### 大串 博志君（民主）

- ・目的規定に耕作者自らによる農地所有の重要性や地域との調和を盛り込むべきではないか。
- ・一般企業等の農業参入に対して事前規制として一定の

要件を課す必要があるのではないかと。

- ・農地の面的集積を進めるためには、農地所有者ではなく農地の借り手に交付金を交付する必要があるのではないかと。

### 佐々木 隆博君（民主）

- ・本案による農地利用の規制緩和は、一般企業等の所有権取得につながるものではない旨明言すべきではないかと。
- ・本案により重要性が増す農業委員会への支援が必要ではないかと。
- ・土地利用計画や農家の兼業の在り方について農林水産大臣はどのように考えるのか。

## 菅野哲雄君(社民)

- ・現行農地法の基本理念である耕作者主義と小規模家族農業経営について農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・食料自給率向上のためには、転用規制の強化のみでな

く農業所得向上のための施策が必要ではないか。

- ・農業生産法人への出資制限の緩和は農外資本の経営支配力の拡大につながるのではないか。

### 3 バイオマス活用推進基本法案起草の件

- ・遠藤委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。  
(賛成 - 自民、民主、公明、社民)

### 4 バイオマス活用推進に関する件

- ・「バイオマス活用推進に関する件」について、遠藤委員長から決議案が提出され、趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを委員会の決議とすることに決しました。  
(賛成 自民、民主、公明、社民)
- ・石破農林水産大臣から発言がありました。

### 5 特定農産加工業経営改善臨時措置法の一部を改正する法律案(内閣提出第35号)

#### 農林漁業及び農山漁村の再生のための改革に関する法律案(筒井信隆君外4名提出、衆法第2号)

- ・石破農林水産大臣及び提出者筒井信隆君(民主)からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。